

レビュー会の目的

新しい市役所は「ユニバーサルデザイン」を取り入れ、年齢や性別、障害の有無に関わらず、全ての人が安心して利用できる建物を目指します。

令和7年3月に実施したユニバーサルデザインワークショップで寄せられた意見に留意し、説明を進めてきました。今回はその説明内容について、実際に利用する市民の方に説明内容を共有した上で意見交換を行いました。いただいたご意見は、今後の設計に活かしていきます。

日時 2025年10月5日(日曜日)
会場 大宮区役所 4階 会議室
参加者 20名

(内ハンディキャップをお持ちの方)
 ・視覚 4名
 ・聴覚 1名
 ・精神 2名

参加者の意見の聴取プロセス

計画の説明

ユニバーサルデザイン配慮の確認

意見交換

意見の整理

レビュー会 当日の流れ

設計統轄の仙田氏より、基本設計内容を説明しました。



ユニバーサルデザインに配慮した計画部分について、説明を行いました。



視覚障害をお持ちの方にも建物構成がイメージしやすい“さわれる模型”を用いて説明

市民利用頻度の高い4つのゾーン(外広場、エントランスホール、執務室フロア、議会傍聴席など)について意見交換を行いました。ユニバーサルデザインの専門家、設計者、市の担当者が参加者からの様々な意見を聞き取りました。



ゾーンごとに参加者からの意見を収集し、全体で共有しました。



最後に、新庁舎ユニバーサルデザインアドバイザー高橋氏により、参加者からいただいたご意見を、専門家の視点から分析・整理しました。

